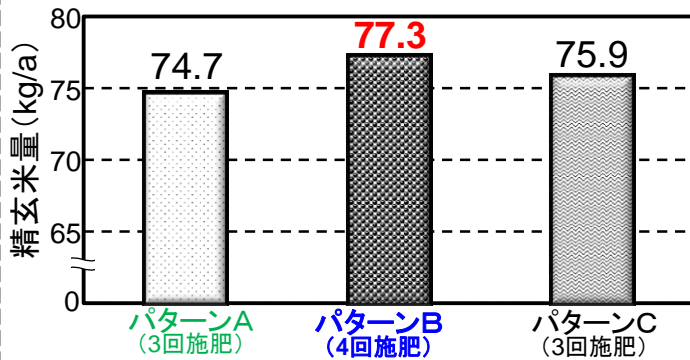


酒造用掛米新品種「京の輝き」に適した 省力施肥法の開発 (農林センター)

主 旨

酒造用米「京の輝き」の多収と酒造メーカーが求める品質を満たす最適窒素供給パターンを明らかにし、これに基づいた基肥一発型の専用肥料を開発

図 窒素供給パターンと精玄米量との関係



パターンA

基肥5.0+中間追肥 0+穂肥①2.5+穂肥②1.5(kg/10a)

パターンB(最適窒素供給パターン)

基肥5.0+中間追肥2.0+穂肥①2.5+穂肥②1.5(kg/10a)

パターンC

基肥7.0+中間追肥 0+穂肥①2.5+穂肥②1.5(kg/10a)

【最適窒素供給パターンの特徴】
肥効が生育初期から約100日間、
土壤中で持続



最適な窒素供給パターンを再現し、
施肥回数を4回から1回に減らせる
専用肥料を開発

- ・多収(600kg以上/10a)
- ・高品質(粗タンパク質含有率8%以下)を実現



「京の輝き」に最適な基肥一発型の専用肥料を開発
(メーカー2社市販化予定)

具体的な研究成果

- ・「京の輝き」の最適窒素供給パターン「基肥5.0+中間追肥2.0+穂肥①2.5+穂肥②1.5(kg/10a)」を解明(上図)
- ・規模拡大に不可欠な施肥作業を軽減する基肥一発型の専用肥料を開発、市販化を予定
- ・栽培マニュアルを修正して生産者や関係機関に配布

研究成果の活用場面、波及効果等

- ・「京の輝き」の生産者は、新肥料の導入によって、容易に省力的な高品質・多収栽培ができます。
- ・酒造メーカーは、品質の高い京都オリジナルの清酒をつくることができます。